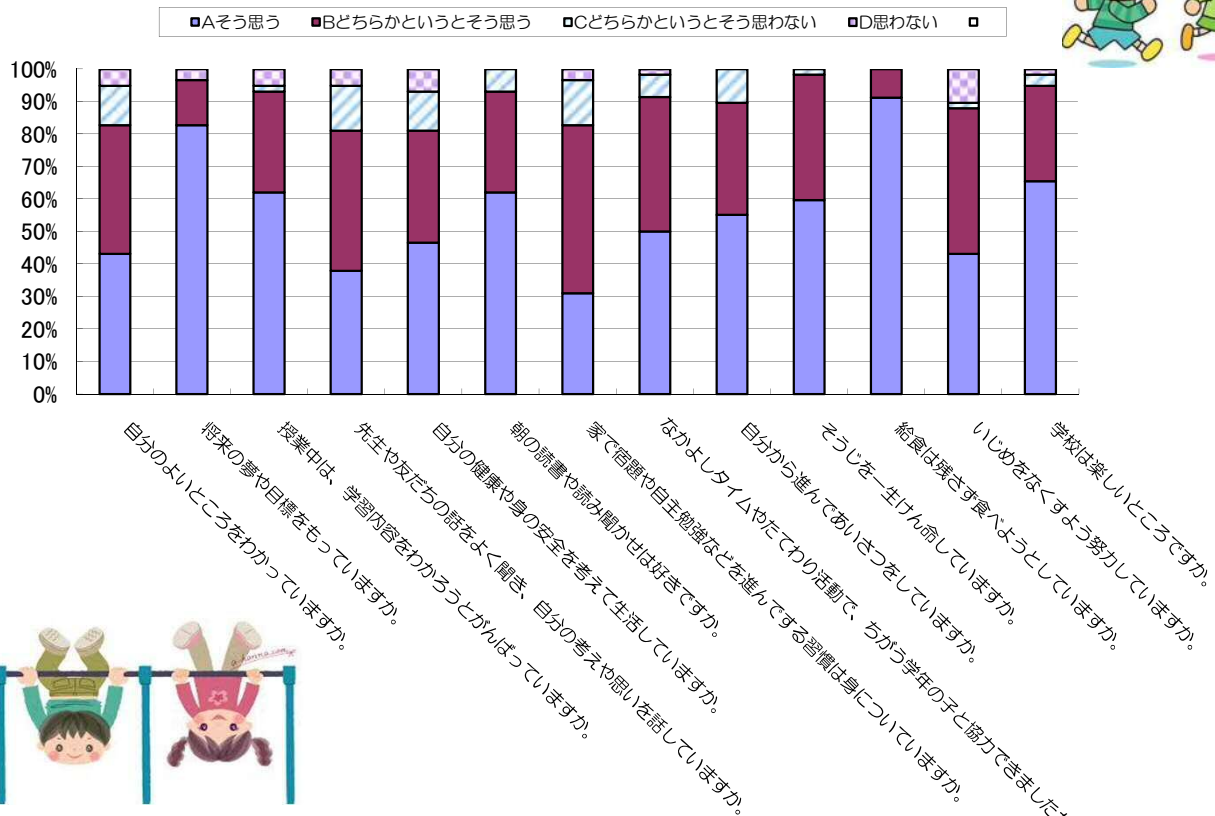


児童アンケート（4～6年生）の結果より



- 「学校は楽しいところか」の問いには、4年生以上の94.8%が肯定的です。昨年度同様、ほとんどの児童が楽しく学校に通っているのはうれしいことです。全員が楽しく感じることができるよう、一人一人の思いに寄り添った取り組みを進めていきたいと感じます。
- 学習に関しては、93.1%が「授業中、学習内容をわかっていっている」と回答しています。しかし、「先生や友だちの話をよく聞き、考えや思いを話そうとしているか」に肯定的な回答をしたのは81%であり、がんばろうという意識と学習の取り組み方との間にずれを感じます。学習内容をよく理解するために、話を聞く力や、自分から意見を発表したり、わからないことを質問したりする力を付けたいと考えます。また、「家で宿題や自主勉強などを進んでする習慣が身についているか」に肯定的なのは82.7%です。こつこつと家庭学習に取り組むことは基礎学力の定着に欠かせないので、引き続き、ご家庭でも声かけと励ましをお願いします。
- 「給食は残さず食べようとしているか」の問いには100%が肯定しました。一方、「自分の健康や身の安全を考えて生活しているか」は、肯定したのが81.1%で昨年度よりも下がりました。また、「自分から進んであいさつをする」も89.7%とやや下がっています。好き嫌いなく食べるとともに、早寝早起きなど健全な生活習慣を心がけ、安全に注意した遊びや登下校を行うなど、心身の健康や命を守ることの大切さについて学習を深めたいと考えます。心身が健康であれば、朝から元気のよいあいさつができると考えます。
- 「なかよしタイムなどの活動で、ちがう学年の子と協力できたか」には91.4%が肯定しています。行事だけでなく、登下校やクラブ活動、掃除の時間など様々な場面で低学年に優しく接する高学年の姿が見られます。98.2%が「掃除を一生けんめいしている」と回答しており、集団活動には協力して真面目に取り組もうとする本校児童のよさが表れています。
- 「将来の夢や目標をもっているか」については、96.6%もの高い割合で肯定しているものの、「自分のよいところがわかっているか」では、82.8%とやや低い割合となっています。児童が自分の良さや得意なことを自覚し、自己肯定感を高めることができるような取り組みを充実させ、適切な評価や励ましにより、目的意識をもって主体的に学校生活を送ることができるようにしていきたいと考えます。
- 「いじめをなくすよう努力しているか」について、87.9%が肯定しているものの、10.3%が「いいえ」と答えていることが気になります。教育相談などで実態把握に努めるとともに、隣に困っている人がいたら、知らんぷりをせず、正しいと思うことを行動できる仲間づくりの取り組みや、道徳・人権教育のさらなる充実を図っていききたいと考えます。